

様式第2号（第5条関係）

令和7年11月20日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 端 師孝



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和7年10月19日 ～ 令和7年10月24日まで
- 2 旅行先 東京都
- 3 目的 議員研修会出席
- 4 関係書類 別紙のとおり



新人議員研修 東京



1日通しで5,000円

途中参加、途中退出自由

今まで5,000人の議員が受講した新人向けセミナー

当選後の議員人生を左右するので必ず受講ください！！

一回参加した新人議員も参加可能

同行する先輩議員も参加可能

参加者満足度、脅威の96%

わからないことがわかった。

自分の街だけのルールだと知った。

財政の大事さを理解できた。

10月6日(月) / 10月20日(月)

▶ 10:00~12:30

議員活動新人研修1

- 1期目に絶対に注意してほしいこと
- セミナーで一番多い質問の共有
- 職員からみた議員の見え方
- 先輩議員に教えてもらおうとダメになる例
- 基礎知識としての財政のポイント

10月6日(月) / 10月20日(月)

▶ 13:30~16:00

議員活動新人研修2

- 相手を知り自分を知る
~役所の仕組みと予算のスケジュール
- 議会と議員が出来ること出来ないこと
- 質疑や質問の組み立て方
- 先進事例を自分の街で質問することの問題点
- 過去5,000人が聞いた
役所を動かす質問の仕方の必須要件

川本 達志 かみもと たつし 元・世田谷市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行政改善、契約業務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県世田谷市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、世田谷市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7学陽書房)



J:COM × 地方議員研究会

防災対策 共催セミナー 東京

※通常の東京開催と会場が異なります。

10月7日(火)

10月21日(火)

— 10:00～12:30 —

防災減災特別講座 1

- 自治体の防災に対する役割
- 過去の災害から学ぶ
- 法律や計画から学ぶ
- 災害時に政治家かなすべきこと

— 13:30～16:00 —

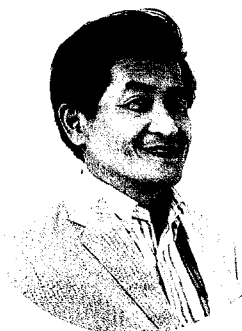
防災減災特別講座 2

- 土砂災害に備えるために必要なこと
- 大雨、地震、津波それぞれの防災減災の施策
- 国からの財政措置についておさらいする
- 防災、減災の質問のポイント
- 効果的な質問質疑のために必要なこと

かわもと たつし

講師：川本 達志 元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7学陽書房)



全国の議会の様々なルールを学べて、全国の議員と交流もできます。
 質問通告が先着順？くじびき？期別順？全員が質問できない議会？
 質疑が2回までって誰が決めたルール？再質問の原稿を職員に提出する議会？
 全国の独自ルールを学び自分の街の議会のルールを見直しましょう。

新人議員基礎研修

最初の1年で差がつく！デキる議員の戦い方を学ぶ

博多

東京

10.16 木 10.22 水

通常価格講座 1講座5,000円

町村議会議員 1講座2,000円

10:00

↓
11:30

「初動」で決まる信頼と影響力

～最初の一手で「デキる議員」になる全て

- 初登庁からの「最初の2年」でやるべきこと
- 「一般質問」の勝ちパターン=使えるネタと構成
- 先輩議員・職員との関係構築テクニク
- 活躍する先輩議員の必須知識とセミナーでよく出る質問

13:30

↓
16:00

予算・決算を読み解く — 「財政」に強い議員が最強

～財政を「武器」にする議員になる

- 自治体財政の「ここだけ見ればOK」ポイント
- 「ムダ削減」と「政策提案」をつなげる視点
- 財政質問のコツ=効く質問とスルーされる質問
- 予算書や決算書から鋭い質問なんて作れない

博多

東京

10.17 金 10.23 木

10:00

↓
12:30

「議員力」を上げる！政策立案と提案力

～「何をしているか分からない議員」にならないために

- 議員としての「売り」を作る方法
- 一般質問を「提案型」に変えて評価を上げる
- 他自治体の「成功政策」を議会で通すテクニク
- 「実現可能な公約」に変える戦略的アプローチ

13:30

↓
16:00

影響力のある議員になる「議会制度」の知識

～制度やルールがわからないのにいい議員活動なんてできない

- 議会の活動を本当に理解しているか？
- あなたの議会のルールは全国共通ではない？
- 制度がわかれば主張が論理的になる
- 議会改革は議員コミュニケーション改革

すぎもと こうすけ

杉本 康介

地方議員研究会事務局長

1980年、大阪府生まれ。大阪市立大学大学院修了。行政評価制度と幸福度について研究。国家公務員を10年勤務後、全国の自治体を対象に議会制度や財政について講演、地方議員研究会設立に携わり、設立当初から各セミナーの企画立案、講師の招聘などセミナー事業全ての責任者。また過去のセミナーの各会場で休み時間に財政やRESASミニ講座をしている関西弁のスタッフ。



令和の地方議会に 求められる 議員力アップ研修



東京 京都 ご案内

東京 2025 **10.24** (金) | 京都 **11.21** (金)

東京 2025 **10.25** (土) | 京都 **11.22** (土)

10:00 ▶ 12:30

生成AI (チャットGPT) を活用した 議員活動の基礎

- ・生成AI (チャットGPT) ができること
- ・議員活動における基本的な使い方
- ・政策実現のための有効な使い方
- ・ブログ、広報での活用方法
- ・生成AI時代の議員がすべき役割と動き方

13:30 ▶ 16:00

生成AI (チャットGPT) を活用した 議会質問の作り方

- ・ただ使うだけの質問に意味はない
- ・そもそも議会質問で必須の事項
- ・質問時間の長さとは成果は無関係
- ・財政分析 (財政状況資料集) での利用の仕方
- ・事業分析での活用方法

10:00 ▶ 12:30

地方創生2.0について① 若者や女性に選ばれる地方を作るためには

- ・子育て世代のニーズをつかもう
- ・役所の計画などの確認
- ・保育環境の改善や議会質問での提言
- ・教育委員会関連の質問時のポイント

13:30 ▶ 16:00

地方創生2.0について② 民の力を活かす官民連携の強化について

- ・新しい官民連携の最新事例
- ・逆プロポで実現した各地の事業
- ・新しい民間委託PFSのススメ
- ・人口減少時代の自治体経営のありかた

元枚方市議会議員長
講師 **木村 亮太** / きむら りょうた

枚方市生まれ、大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業 (ベンチャー企業) を経て、2011年より無所属で3期12年枚方市市議会議員として活動。2023年4月で任期満了。2015年度監査委員、2016年度議会改革調査特別委員会委員長、2018年度副議長、2022年度議長などを歴任。
市議会議員時代の政策提言や議会改革の取り組みがマニフェスト大賞最優秀賞グッドアイデア賞、優秀賞躍進賞を受賞。『はじめて取り組む自治体職員のための成果連動型委託契約(PFS)/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)実践ガイドブック』、日経グローバルに寄稿実績あり。
全国市議会議長会での講演実績あり。
グロービス経営大学院でMBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士を取得。



日 時	令和7年 10月20日10:00～16:00 10月21日10:00～16:00 10月22日10:00～16:00 10月23日10:00～16:00 10月24日10:00～16:00
視 察 先	地方議員研究会 東京会場 リファレンス西新宿東京都新宿区西新宿7丁目21-3大京ビル 株式会社J:COM 東京都練馬区桜台1丁目1-6桜台ビル
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新人議員研修 <ul style="list-style-type: none"> 議員活動新人研修1 議員活動新人研修2 ・防災対策共催セミナー <ul style="list-style-type: none"> 防災減災特別講座1 防災減災特別講座2 ・新人議員基礎研修 <ul style="list-style-type: none"> 「初動」で決まる信頼と影響力～最初の一手で「できる議員」になる全て 予算・決算を読み解く「財政」に強い議員が最強～財政を「武器」にする議員になる ・新人議員基礎研修 <ul style="list-style-type: none"> 「議員力」を上げる！政策立案と提案力～「何をしているか分からない議員」にならないために 影響力のある議員になる「議会制度」の知識～制度やルールがわからないのにいい議員活動なんてできない ・令和の地方議会に求められる議員力アップ研修 <ul style="list-style-type: none"> 生成AI（チャットGPT）を活用した議員活動の基礎 生成AI（チャットGPT）を活用した議員質問の作り方
対 応 者	講師 川本 達志氏 元廿日市副市長 講師 杉本 康介氏 地方議員研究会事務局長 講師 木村 亮太氏 元枚方市議長

<p>1. 視察目的</p> <p>2. 視察内容</p> <p>① 背景</p> <p>② 特徴</p> <p>3. 主な質疑</p> <p>4. 考察 (感想、政策提言、課題など)</p>	<p>1. 目的</p> <p>・議員任期がまもなく4年目になるあたり、まちの課題が広くそして高度であることを知りました。定期的な基礎の更新が必要と考えています。今回は、議会として果たすべき役割や基本的な考え方を改めて整理し、今後の議員活動および議会運営に活かすことを目的として、新人議員研修を受講した。</p> <p>また近年、議員が議員活動や議会活動においてA Iをはじめとするデジタル技術の活用が進みつつある中、先進的な活用事例を学び、今後の活用可能性を検討するために生成A Iを活用した研修を受講した。</p> <p>さらに、業務継続計画（BCP）については、新型コロナウイルス感染症の経験や本町において想定される自然災害への備えとして、その重要性が一層高まっている。当議会においても、災害時や感染症まん延時に動きを止めないことの必要性は認識している。議会BCPの作成がまもなくであるため、議会改革推進会議においてさらなる具体的な検討手法や全体像の整理が課題となっている。実効性のある議会BCPの検討や議論につなげるため、必要な知見を得ることを目的とした。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20日 新人議員研修 ・22日 新人議員基礎研修 ・23日 新人議員基礎研修 <p>共通して、1期目にやってほしいこと、注意してほしいことにおいて特に議員本来の存在意義を自己認識することが基本ということで、まずは「学ぶこと」が必要と繰り返し講師より話されたことが印象に残った。ルールを知らなければ試合に勝てない。また、そのベースが築かれた上で、議員が本来的にすべきこと、主要なテーマは一貫して追求することがいい議員活動や議会活動につながると挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21日 防災対策共催セミナー <p>防災対策基本法。自治体の役割は予防対策→応急対策→復旧対策3段階、災害対策本部の役割、災害時の消防団や自主防災組織やボランティアの役割、土砂災害、地震災害や津波災害に備えるために必要なことを講師から説明があった。議員は防災知識の伝道師であってほしいと冒頭で言われたことが印象に残った。そのためには平時からの議会は執行部との連携がとれるよう準備しておくことが必要となる。</p>
--	---

・24日 令和の地方議会に求められる議員力アップ研修

生成AIの政策実現のための使い方の基本として、資料の要約、事例の調査、論点の抽出、仮の質問を作る、深堀り壁打ちすることの5つのポイントを講師が説明された。また、質問を実現させるには行政と認識を合わせる必要があるという点が印象に残った。いかに生成AIを使おうとも、政策実現のために熱意と執念を継続させることが大切になる。

4. 感想

この研修を受けたことで議員は、議会や行政の常識として行われていることが、何に基づいているのかを確かめる。できないことはなぜなのか、根拠を求める。できないをできるに変える。熱意と執念をもって継続させることの大切さを感じた。必要なルールを学び、行政へは事実確認で終わらせない質疑から粘り強く政策提言に結びつけるような発言を増やせるようにつなげたいと感じた。

新人議員研修といえば1期から2期までが多いというが、日々議会や行政の常識、ルールは見直され改定されている。その上で、議会活動や議員活動もまた古い常識のまま止まっている議員も少なくない。この地方議員研究会の新人研修を受けた議員が、ベテランといわれる議員と一緒にあってあらためて研修を受ける例があると聞いて驚いた。ベテラン議員であってもこの気づきはマインドチェンジになるといい、同僚議員と想いを共にして、議会力向上や議会改革につなげたりしているそうです。地方議員研究会のセミナーは、単なる学問ではなく、現場を踏まえた実学が多く学べるようになっていて良質なインプットができたと感じている。今後はこの膨大な情報量を整理し、住民の福祉向上ならびに増進に寄与できるよう議会活動でのアウトプットに繋がりたいと新人議員研修を通じて基礎の向上を認識した。

また、新人議員研修を単なる一過性のものとせず、任期中においても定期的に基礎を確認する仕組みを取り入れることが、議会全体の質の維持・向上につながると感じた。さらに複数人で参加する意義も感じた。